

11号

都筑区民活動センター

つづき えん 縁ジン

きっかけマガジンつづきえんじん

閲覧用

都筑区民活動センター

近頃気になる!

コミュニテイ カフェ





いのちの木



ほっとカフェ中川



都筑に4つの「コミュニティカフェ」

行って きました!



最近よく耳にする言葉、「コミュニティカフェ」。実は都筑区には4つの「コミュニティカフェ」があります。「普通のカフェと何が違うの?」「普通にランチ、利用できるの?」「値段は?」「ひとりでふらっと寄ってもいいの?」「どうして「コミュニティ」がつくの?」「たくさん????」を携えて、縁ジン区民サポーターが、コミュニティカフェを巡ってきました!



「アスタ荏田」はえだきん商店街の一角に位置するカフェです。広く明るく段差がない店内には、『当カフェでは、知的に障がいを抱えた従業員がお客様の対応をさせて頂いております。自閉症などの障がい特性のためすぐにお返事が出来なかったり、対応が遅かったりする場合がございます』というメッセージがありました。さっそく職業指導員の羽藤皓児さんにお話を伺いました。



＜コミュニティカフェをはじめたきっかけを教えてください＞
当初は地域作業所に併設された多目的広場でしたが、時代とともに、用途や利用者（障がいを抱える方）のニーズも変化していき、「活動の機会」、「就労訓練の場」としてカフェに変更をしました。スタッフの制服は社会生活に必要な「身だしなみ」の向上を目的として導入しました。

＜経営の苦労は?＞

一番の苦労は、経済活動（菓子の販売やカフェの営業など）と利用者である障がい者の支援を両輪で回していくことです。ただ、日頃よりお世話になっているお客様や従業員の努力で、成果を出せていることは本当にうれしく思っています。ぜひ、「Asuta」の商品を一度ご賞味いただければと思います。



レジを担当する増戸さん

アスタ荏田



「ここは福祉関係だから応援したい。味も他の店と遜色ないよ」「社協の会議や自治会の総会でも利用してるよ」と、隣のテーブルのお客さま。地元から愛されているカフェでした!



ランチメニューが充実

イケベツティ

アスタ荏田

知的障害者の就労の場であるものの一般店舗と変わらない居心地と味を追求するカフェ。

横浜コミュニティカフェネットワーク世話人 米田佐知子さんの見る「4店舗の特徴」

コミュニティカフェとは「目的なく誰でも利用でき、飲食と物販・スペース貸など金銭のやり取りが可能で、地域や社会につながる機会が用意されている場」です。常設だと、さらに人が集いやすいと思います。コミュニティカフェに行くことで顔見知りができたり、おしゃべりから新しいアイデアが生まれたり、一歩踏み込んで関わると仲間や出番を得て、やりがい・生きがいにつながることもあります。一般のカフェでも、そういう機能を持ち、まちを愛する店主のカフェはコミュニティカフェと呼べるでしょう。

いのちの木

高齢や障害などの制度外課題と向き合い、利用者の個性を活かす事業化の力を持つ場。



コーヒーマスターの榎田さん

「編み物サークル」や「本づくり学校」などに興味津々! マスターが淹れてくれたコーヒーも本格派の味と香りでした!

ココナッツミルク

SAKI



中川駅から徒歩3分。住宅展示場ハウスクエア横浜の一角に「シェアリーカフェ」があります。運営しているまちづくり団体、NPO法人I Love つづき代表の岩室さんからお話を伺いました。

岩室さん

＜「まちづくり」と聞くと難しい印象ですが＞

まちづくりには正解がないので、誰もが納得する答えを出すのは難しいです。例えば近所の緑道が夜暗いから、街灯を増やしてほしいという意見があると思います。便利・安全だけを考えると明るい方がいいけれど、生態系への影響を考えると、暗い緑道も守る必要がある。夜は遠回りしても明るい道を歩いてもらいたい。どちらを選ぶのか、十分な議論が必要で、俯瞰した目で全体をみるまちづくりが必要だと感じています

＜コミュニティカフェへの思いを＞

当初コミュニティカフェを作ろうなんて、全く意識していませんでした。イメージしていたのはシェアオフィスです。「エア=空間」を「シェア=分け合う」から「シェアリー」。ランチやドリンクの提供とか、やりたいことを詰め込んでオープンしたら、コミュニティカフェだねって言われて、初めて「ああそうなんだ」と思いました。ここはいろんな人が出会ったり、つながったりする場所。お客さんに「ここで出会えた!ここにきてよかった!」と言ってもらえることが何よりもうれしいですね。



広い店内はパーティーも可能



代表の岩室さんのまちづくりの話に共感! ボランティア登録しようかな

レティ・かかあ



おすすめ、手作りスイーツ

ほっとカフェ中川

住民のまちづくり活動から生まれた地域拠点。やりがい生きがいを共有できる場。

中川駅ちかくの「ほっとカフェ中川」は、中川のまちづくりを考える市民グループが、活動の拠点にと2011年に開店しました。カフェ開店のきっかけは、中川ににぎわいを取り戻したいという住民の思いでした...運営するNPO法人「ぐるっと緑道」代表塩入さんからお話を伺いました。

＜カフェを開いてよかったことは?＞

地域の力で中川駅前商業地区を活性化させたいと2012年『中川ルネサンスプロジェクト』が発足し、カフェはプロジェクトの基地となりました。ここに来れば、「まちのこと」が「自分ごと」になりますから。場が人を呼び、人が人を呼んで、のべ800人のボランティアが関わるまちづくり活動となりました。カフェに立ち寄ったことがきっかけでボランティアを始める人もいますよ。



塩入さんとボランティアスタッフ

＜ボランティア継続の秘訣はありますか?＞

頼まれてしかたなくやる地域活動には「やらされ感」がつきものだけれど、私たちの活動は「やらされ感」とは無縁です。みんな「やる感」しかない(笑) まず自分の意志で始めることでしょうか。

都筑で生まれ育ち、あたりまえに都筑が好きでこのまちを良いまちにしたいと思っていましたが、誰にとっても自分のまちを守り育てることが、生きがいや喜びにつながるんですね!

ちゃほ



店内の小箱ショップ 手作りの小物などを展示

「そこに行くと誰かに会える」、「自分の役割が見つかる」。人が集い、交流が深まり、活動が始まるコミュニティカフェ。ぜひ、お気に入りのコミュニティカフェを見つけてください!





生きがい・やりがい・楽しみを見つけ
地域でいきいきと活動する人を
「つづき縁ジニア」と呼びます！

募集中

平成29年度 都筑区民活動補助金のお知らせ

区内の市民活動・生涯学習団体が地域の課題解決のために行う事業に対して補助をしています。平成29年4月から平成30年3月までに行われる事業で助成を希望する団体を募集します！
申込期間：4月3日(月)～5月12日(金)
申請書は区役所1階 都筑区民活動センターで配布中

平成28年度区民活動補助金交付団体の活動紹介

平成28年度補助金を交付した4団体の活動内容を紹介します ()内は申請回数

つづきナビ倶楽部(3)

都筑の良さを広め「ふるさと」としての意識を持ってもらいたい。障害のある人もまち歩きを共に楽しみたい。

①こんなことをやりました
都筑区他、近隣区にも足を延ばし歴史散策を行いました。障害者用のコースを設定して、階段や急坂をショートカットし無理なくゴール出来るよう工夫しました。

②その結果こうなりました
参加者からは来年も参加したいという声が多数で感謝していますが、継続参加の方が増えて新規参加者の入る余地がないという課題もあり苦慮しています。



まち歩きの途中でちょっと休憩

つづきウォーキング & ストレッチクラブ(3)

元気な高齢者を増やしたい。外出の機会をつくり、正しい歩き方でウォーキングを楽しんでもらいたい。

①こんなことをやりました
ウォーキングの前に健康講座と準備運動、ウォーキングの後でストレッチをスポーツ専門指導員から受け、けがの予防、健康への関心喚起に努めました。

②その結果こうなりました
参加者同士の関係が深まり、健康に対する自主性も向上しました。ゴミ拾いウォークの体験からゴミ施策やまちの景観にも関心が高まりました。



ウォーキング前の準備運動

こどもみらいフェスティバル 実行委員会(2)

「子どもが主役の子育て」「もっと自由に外遊び」という理念を伝える。子育て世代のネットワーク化と子育てへの不安を軽くしたい。

①こんなことをやりました
28年6月にセンター北・駅前芝生広場・あいたいで出張プレイパーク、親子ワークショップを開催しました。都筑公会堂で講演会、コンサート、映画上映会を開催しました。

②その結果こうなりました
開催前後のワークショップで団体内の相互理解が深まりました。子ども自身がフェスの運営を担う場面も多くなり積極的な発言が増えました。



子どもも大人も一緒に楽しもう！

つづき図書館 ファン倶楽部(1)

年代を問わず誰にでも開かれている図書館の魅力発信。未来の図書館の役割についてビジョンを描き、読書活動の担い手を発掘したい。

①こんなことをやりました
連続講座と市内にある公設や私設の図書施設、7か所を訪問し、都筑に「こんな図書館あったらいいな」というアイデアを出しあい、理想の図書館について考えました。

②その結果こうなりました
昨年の講座で描いた理想の図書館像をイラスト化して団体の通信で発信しました。今年も昨年度の講師を招き、学びを深める予定です。



連続講座は満員御礼！

報告

<都筑地区センター> 「みんなでポッチャをやってみよう！」

ポッチャ体験講座第2弾(2/6～20毎月曜)：初めての方も覚えやすいゲームです。楽しみながら、新しい仲間作りができました。



やるとなったら真剣！思わず力が入るみなさん。

<中川西地区センター> 「自由に楽しくカッコ良く」 ～シニアの男の生き方講座～

2/18～3/4(毎週土曜)シニア男性が集まり、これからのことを語り合いました。



生涯青春、カッコ良く！

大人の学級通信

都筑に転勤して来たら・・・転勤妻のおしゃべりサロンへどうぞ！



転勤妻のおしゃべりサロン

転勤で新たに都筑区にいらした皆さん！区役所1階の区民活動センターで毎月第3金曜日10時～転勤妻の妻の為のサロン「転勤妻のおしゃべりサロン」を開催しています。都筑の地域情報・子育て情報満載のサロンです。同じ境遇の方士の悩み相談や「転勤あるある」の披露で毎回笑顔の絶えないサロンです。きっと楽しい出会いがありますよ！

報告

団体スキルアップ講座

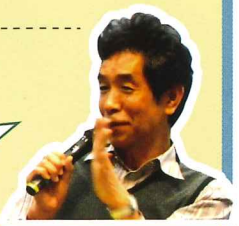
精力的に活動されている2団体の代表に、活動の極意をお聴きしました。

第4回「市民活動団体の事例紹介」日時：2017年1月16日(月)10:00～12:00



まちづくりのために、助成金を活用して財政的な裏付けを確保し、目標を実現してきました。テーマごとのグループで活動することが、やりがいと楽しさを長続きさせるコツです。

「NPO法人ぐるっと緑道」代表 塩入廣中さん



図書館の応援団だがいわる『お手伝い』はしておらず、図書館とは対等な立場で活動をしています。

「つづき図書館ファン倶楽部」代表 若杉隆志さん



活動の分野は違っても、共通することがあります。多くの市民活動の報告を聞くことは大事だと感じました。



発表した団体の、活動やイベントについては知っていましたが、裏側の苦勞を聞くことができて参考になりました。

輝く女性応援プロジェクト

WOMEN'S MEET UP FES in 都筑 ～どっちも本気の“わたし”スタイル～

3月3日(金)に都筑区役所にて都筑区初となる女性のためのフェスティバル「WOMEN'S MEET UP FES in 都筑」が開催されました。

第1部 青葉区で地域メディア「森ノオト」を発信している、北原まどかさん、都筑区で「育児ミュージカルKUMINS」を制作、上演している杉本周子(しゅうこ)さんによるパネルディスカッション。お二人のお話から魅力的な言葉や生き方のヒントをたくさんいただくことができました。

第2部 活動紹介パネルセッション+交流会。都筑区内、近隣にて活動を始めた方たちによるパネル展示と2分間スピーチでは、個性あふれるさまざまな活動が紹介され、大いに盛り上がりしました。

次回の「WOMEN'S MEET UP FES in 都筑」は7月に開催予定！広報やホームページでご案内しますので、ぜひご期待ください。



パネリストのお二人



交流会は大事な情報交換の場

募集中

縁(エン)ジン 区民サポーター募集

縁ジン区民サポーター、募集中です！縁ジン区民サポーターは広報紙縁ジンを支えるアイデア集団です。都筑の魅力をもっと知りたい知らせたい！そんなあなたをお待ちしています。



アスタ窪田で羽藤さんのお話を聞く区民サポーターみんな興味津々

募集中

合同成果発表会

一年間のふ・り・か・え・り

6月3日(土)午前10時より、昨年度区民活動補助金受託団体、大人の学級運営団体が一堂に会し活動報告を行います。1年間の活動で、頑張ったこと、悩んだこと、達成できたこと、引き続き取り組んでいくこと、1年間の経験を本音で語り共有できる機会です。今年度区民活動補助金を申請する団体はもちろんのこと、今後申請を考えている団体の方も是非ご参加ください。

おじゃましま〜す 区内コミュニティハウス合同オセロ大会！

vol.9

「目指せ！都筑の小学生オセロチャンピオン！」



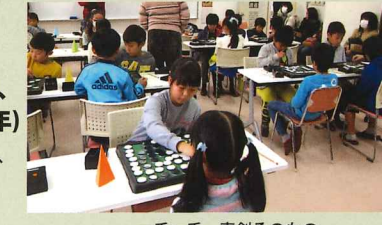
まずは講義を受けて、

予選

1月21日(土) 東山田中学校コミュニティハウスで行われた予選会は、日本オセロ連盟の板垣さんの講義のあとによいよ対戦がスタートしました。各館から本大会にエントリーした小学生は総勢154名。頂点をめざして熱い戦いが予想されます。

決勝戦

2月18日(土) 川和小コミュニティハウスに、予選を勝ち抜いた27名が集まりました！



一手一手、真剣そのもの



入賞した3人。おめでとうございます！

熱戦の結果、初代チャンピオンは川上さん(つづきの丘小6年)、2位は屋野さん(つづきの丘小3年)、3位は松田さん(牛久保小1年)に決定しました。7つのコミュニティハウスが連携することで、区内全域に広がるスケールの大きな大会になりました。今後、都筑に「オセロブーム」がやって来そうですね。

先輩緑ジニアが語る 地域デビューのススメ

vol.2 IKUMINS 育児ミュージカル実行委員会委員長
杉本周子さん

昔のスキルを活かして

「WOMEN'S MEET UP FES in 都筑」のバネリストとして登壇いただいた杉本さんは、市民活動と地域活動併せて2足のわらじを履くスーパー緑ジニアです。杉本さんにご自身の地域デビューについてお話しいただきました。



結婚前は「ふるさときゃらぼん」という劇団で日本中を巡業していました。巡業中は演者から裏方まで何でもやっていました。今から14年前、長子の妊娠中に千葉県から都筑に転入しました。見ず知らずの街で、赤ちゃん会や母親学級の時代の仲間だけが知り合いました。出産後に、妊娠中の出来事をミュージカルにしたら面白いのではと思いつき、舞台化して上演しました。それが現在のIKUMINSの活動につながっています。でも実際に暮らす地域では相変わらず知り合いが少なく、何となく

悶々と過ごしている時期に、地元商店街のお祭りスタッフ募集のチラシが目にとまりました。「これだ!」と思い、すぐさま事務局へ応募。「演劇で培ったスキルを活かし、司会や舞台進行もできます」と売り込んだところ即スタッフとなり、地元のイベントのステージに立つことになりました。そのイベントでは都筑クラブの方との出会いもありました。都筑クラブはイベントや舞台の裏方ボランティアをコーディネートする団体で、現在は会長をつとめています。

やりがい

今年は自治会の副会長も務め、忙しい毎日を送っていますが、しんどいとか嫌だと思える事はありません。忙しくても苦にならないのは、自分が人として誰かに必要とされることや、地域で知り合いが増える事を純粋に楽しいと思えるからです。

地域デビューのススメ

見知らぬ土地にやってきて、誰かとつながりたいと思ったら、まず身の回りにあるイベントなどに飛び込んでみるのが楽しいかも。人とのつながりはお金では買えない。私自身そうやってつながった仲間から、いつも学ばせてもらっています。勇気を出した分の見返りは必ず自分に戻ってきます。暮らしも心も豊かになります。きっと。



えだきんぎょちゃん

キラキラした笑顔でお話しいただき、ありがとうございました。次回もお楽しみに!

My Favorite 都筑

～区内のお気に入りの場所を紹介します～

春のせせらぎ古民家

花散歩フォトクラブ 山田稔さん



写真撮影：山田稔さん

仲町台近くのせせらぎ公園古民家は夫婦でよく足を運ぶ場所です。季節ごとの風景が美しく都筑を代表するビューポイントだと思っています。

【花散歩フォトクラブ】
「花や自然を観る・撮る・楽しむ」をモットーに活動しています。生涯活動として会員相互の親睦も大切にしています。

※皆様のお気に入りの場所をご紹介ください！
お問合せは区民活動センターまで

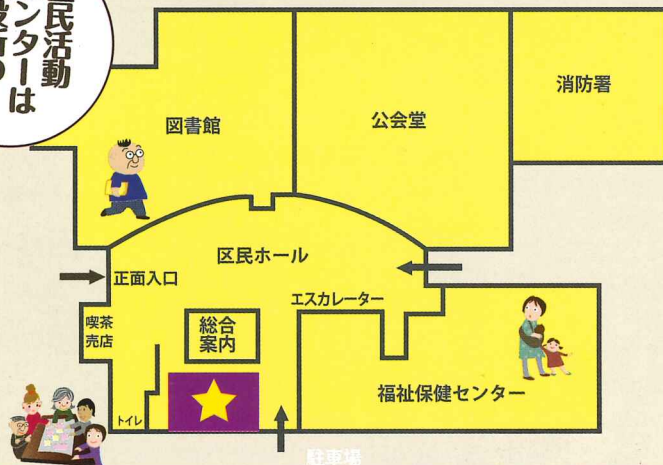
「チビ子さん」久々の登場です！
コミュニティカフェに
でかけてみよう！

新しい出会い、
コミュニティカフェで！

あら、私も
関西！

昨年
から
都筑よ

1区役所の
階で
活動
する
のは



きっかけマガジン「つづき縁(えん)ジン」は
区民サポーターがコンセプト作りに参画しています

区民サポーターの
えん
山柳

新しい季節、春に一句!

- ◆ テキストを買うのは毎年 四月だけ (レディー・かかあ)
- ◆ 夢のをせ色とりどりの春爛漫 (SAKI)
- ◆ 子を産んで酒やめ桜見る花見 (ココナツミルク)
- ◆ アラフォーも成長します! 新年度 (イケベツティ)
- ◆ 別れあり 転勤のまち 出会いあり (チビ子)
- ◆ 散らないで ずっとそのまま さいておれ (エリザベス)

つづき
縁ジン
つづきえんじん

ひとりの力は小さいけれど、ひとりがひとりとつながっていけば、やがて地域を動かすエンジンができます。
「つづき縁(えん)ジン」は都筑の力を豊かにする、「人と人がつながる」きっかけづくりをしていきます。

きっかけマガジン「つづき縁(えん)ジン」 2017年4月 第11号

編集・企画：都筑区民活動センター デザイン：柏崎久恵 (HITAZ)

発行：都筑区役所地域振興課

問合せ：都筑区民活動センター (横浜市都筑区茅ヶ崎中央 32-1 都筑区役所 1階) 電話 045-948-2237 メール tz-katsudo@city.yokohama.jp